

平成 21 年度新宿区外部評価委員会第 3 部会
第 1 回会議要旨

< 出席者 >

外部評価委員（5 名）

名和田部会長（副会長）、入江委員、富井委員、芳賀委員、渡辺委員

事務局（1 名）

担当 1 名

< 開催日 >

平成 21 年 6 月 25 日（木）

< 場所 >

区役所第 2 分庁舎 3 階 会議室

< 開会 >

1 評価方針について

【部会長】

お一人ずつ、どんな抱負で、もし具体的にありましたら、どんなことをどんな手法でやりた
いかをおっしゃっていただけますか。

【委員】

私はイメージ的には、計画事業でいうと事業番号4「町会・自治会及び地区協議会価値同へ
の支援」、5「地域を担う人材の育成と活用」あたりを先に見ていきやすいかなと思ったんで
すけれども。

「新宿区第一次実行計画」の4ページのところが、第3部会はまず基本目標 ですよ。

【部会長】

はい。

【委員】

基本目標 の個別目標の2番「コミュニティの活性化と地域自治を推進するまち」。個別目
標1番と2番は両方対象なわけですけども、どちらかという2のほうを重点的に先に見たほ
うがいいのかなと思ったんです。

エントリーカードに挙がっているのは皆さん希望個別目標っていうのがそれぞれ違いますよ
ね。だから、結果的には今年やっても来年やっても、いずれにしても全体を見ていくという
ところではあまりこだわらないというつもりではあります。

【委員】

もう一度確認したいんだけど、私たちは第3部会で、この基本目標 と基本目標 の分

を2年間かけて全部見れば良いという、そういう理解でよろしいんですかね。

【委員】

4月中に部会を選んでくださいという説明の資料の中にそういうお言葉があったように記憶しているんですけども。

【部会長】

第一次っていうのは2011年までですから、本年度と来年度でやると、ちょうど第二次に向けた見直しに間に合うということだから、2年間かけてやるというのは確かに合理的なやり方ですね。

【委員】

個別目標レベルでは分けちゃうと全然見てない部分が出ちゃいますけれども、個別目標は両方を見つつ、その中のどの部分を重点的に見るかは今年と来年で分担というか、分けていくのかなというイメージだったんですけども。

【部会長】

計画事業のところは確かに全部やっていくと大変かもしれないですね。これ計画年度が第一次実行計画は2011年度までだから、今年度と来年度にがっちり分けてやれば、その次の年度の見直しに役立てることができるということで、イメージとしては事業の評価については、今年度とこれは来年度でもいいかなとか、そういうことを念頭に置いてもいいんじゃないかなと思うんですけどもね。

では、そういうイメージでいきますかね。少なくとも全部やるということは難しいと思うので。

【委員】

2年間でやれば良いという中で、今年度やったらいいかなと思ったのは、個別目標 - 1「参画と協働による自治を切り拓くまち」という部分と、 - 2「コミュニティの活性化と地域自治を推進するまち」という、このテーマに一応絞って手を挙げたんです。エントリーカードを見ると、 - 2は4人とも挙げてますから、これはみんな共通でやれて、あともう一つか2つぐらい、皆さんと興味を持たれたところでやったらどうかというふうに思っています。

【委員】

私も個別目標 - 2のところに関心があります。個別目標 - 1の、自治基本条例というのは今、区民検討委員が検討中ですよ。ですから、2のほうで地域の活性化のためにどうことを区はしているのか、していくべきかというふうなところを取り上げたいと思っています。地区協議会の位置づけなんかを含めて。というのが1つ。

それからもう一つは、漱石山房をつくらうという計画があって、その計画について具体的にどういうふうに進めているのか、今後どういうふうに運営していくのかというようなところに関心を持って取り組みたいな思っています。

【部会長】

じゃあ、 - 2のところを重点的にということですね。

【委員】

はい。

【委員】

漱石山房はどこに入るわけですか。

【委員】

の中の一番初めですね。

【委員】

基本施策 「文化・歴史の掘り起こし」というところの計画事業番号76の枝事業の中にあるんです。

【委員】

私は、個別目標 -1と2にしたんですね。1のほうは今、協働事業提案制度とかそれから協働支援会議とかにかかわっているんですけども、やっぱりその辺がここをどうやって広げていくかというのが一つの協働の核と思っています。これ始まって3年ぐらいたっているんですね。だから、そろそろ評価したほうがいいのかないかなというのと、もう一つはやっぱり地区協議会というのができて、これも3年ぐらいたっているんですけども、仕組みはつくったけど当初目論んだような機能の仕方というのが十分されているのかなという。その辺も地域自治というのを推進する意味合いではどうなのかなと。その辺を評価したい。

あと、もう一つ、個別目標 -2を挙げたのは、新宿のものづくりというのがどのくらいちゃんとできているのかなというのが気になったので、その辺も評価したいと思います。

基本的に僕は今までで理解しているのは、今年度はかなりやって、多分4年度目は全体の総括的なことになるんで、そんなに個別の細かいことをいっばいはいできないでしょうから、ある程度絞り込んだやつと全体の4年間の評価みたいのをしましょうかねというような意見だったんじゃないかなと記憶しています。

それで、4年度目は、その4年間の総括みたいのに結構力を注がなければならない、というようなニュアンスで僕は受け取っているんですね。

【部会長】

そういうニュアンスであったのかもしれませんが、正確なところを言えばね。

確かに、第二次実行計画に向けて役立たせるという意味では、来年度は総括という感じになるわけですね。

【委員】

じゃ、半分やればいいのかというのは甘いんだ。(笑)

【部会長】

そうですね。

今出たのは、個別に拾うと、協働支援会議というのが個別目標 -1にかかわる仕組みとしてあって、これを重視して協働の仕組みをヒアリングし評価するのと、それから個別目標 -2について、地区協議会に関する関心がやはり高いと。昨年度はたしか、地区協議会はまだご

たごたしているからちょっと評価の対象になじまないみたいな話になって、今さっきの新宿自治創造研究所では、全地区協議会のヒアリングをやっているんですね。もうすぐ終わりますけれども。それで、少し評価の対象にさせていただけるのかどうか、ちょっとそこはわかりませんけれども、ここここではそういう要望が出ているということですね。

それから、基本目標 のところについても幾つか事業がありますよね。だから、そういう意味ではそれぞれの委員がお話しになるところを中心に、なるべく多く事業を取り上げるということですね。あと、事業をヒアリングはするんだけど、現場見学のイメージはどうか。

【委員】

現場となると、本当にこの枝事業ごとの現場ですよ。

【部会長】

実情はそうなります。

【委員】

基本目標 のほうでは、別に見学したってどうしようもないので、これはお話を聞くというヒアリングですよ。

【部会長】

そうですね。

【委員】

のほうが現場を見てくる必要があるのじゃないかなと思っていますけれども。ものづくりって、染色とか印刷とかですか。

【委員】

ものづくり産業支援とかそれからマイスター制度とかですね。

【部会長】

これはお考えいただくことにしましょう。

一応我々が任務としている範囲について、来年度との関係でなるべくたくさん個別事業をヒアリングし、部分的に現場見学もしながら評価をやっていくということですね。それぞれの委員のご関心の中心も大体わかって、それぞれ共有されたと思いますので、最後、日程を決めましょう。

日程を調整

【部会長】

では、次回は7月31日午前10時から。場所は後ほどお知らせします。

今年度どうぞよろしく申し上げます。

< 閉会 >